

図書館における図書館資料の除却処理調査の調査結果について（速報）

1 調査の概要

除却の手順等を検証するとともに、今後の資料活用の方策などの見直しを検討するため、図書館における図書館資料の除却処理の状況について、公立大学協会図書館協議会に加盟する公立大学を対象として調査を行った。

2 調査の実施方法

公立大学協会図書館協議会事務局を經由して各大学図書館に平成 30 年 9 月 7 日付けで電子メールにより照会した。

3 回答状況

平成 30 年 9 月 18 日現在で 90 大学のうち、58 大学から回答があった。

4 調査結果（平成 30 年 9 月 18 日現在）

調査結果の概要は、次のとおり（高知県立大学を含めて 59 大学）。

(1) 蔵書数

収蔵能力は 1 大学当たり約 29 万 9 千冊、蔵書数は 1 大学当たり約 25 万 7 千冊。

(2) 年間除却冊数（過去 3 年）

平成 27 年度から平成 29 年度までに除却した図書館資料の各大学の総数は、約 33 万 8 千冊、1 大学当たり約 5,700 冊。

(4) 除却後の活用について

平成 27 年度から平成 29 年度までに除却した図書館資料のうち、譲渡及び売却の状況は、以下のとおりであった。

	項目	区分	大学数	冊数	備考
1	他図書館への譲渡		7	20	
2	学内者に譲渡	無償	35	8,064	37 大学で実施（2 大学は無償、有償とも実施）
		有償	4	4,377	
3	学外者に譲渡	無償	22	150	26 大学で実施（1 大学は無償、有償とも実施）
		有償	5	6,458	
4	売却		5	36,560	
	計		-	55,629	

(5) 除却後の最終処分方法

除却後の最終処分方法は、以下のとおりであった。

	項目	大学数	備考
1	焼却（廃棄物処理業者による焼却処分等）	20	
2	溶解（古紙回収業者等）	19	うち証明書発行 3 件

(6) その他

除却以外の狭隘化対策として、「書架の増設」など、29 大学から事例紹介があった。